

ADWAYS

2023

AUGUST 3, 2023

PRESENTATION
MATERIAL

SECOND QUARTER



東京証券取引所プライム市場：2489

株式会社アドウェイズ

2023年12月期 第2四半期

決算説明会

2023年8月3日

代表取締役社長 山田 翔

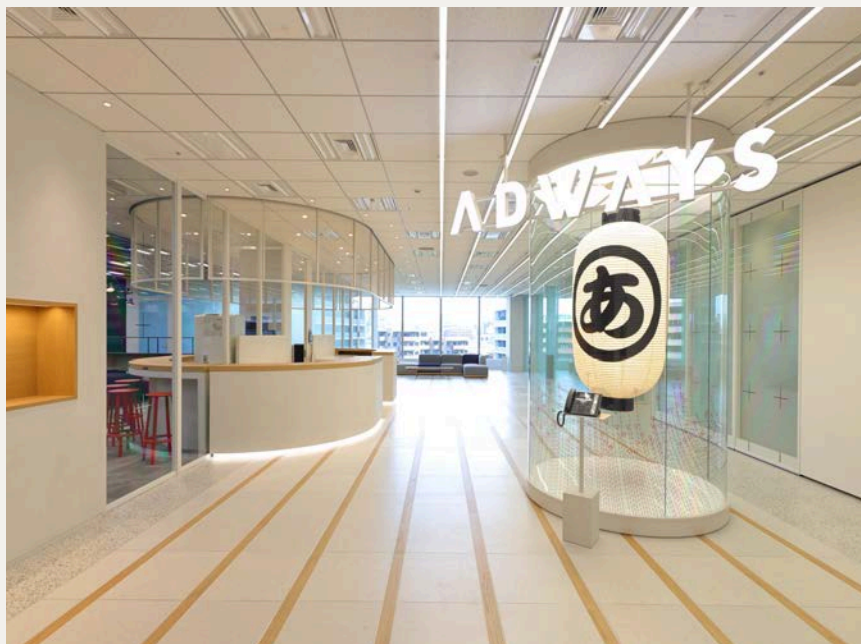
目次

1. 第2四半期の業績 ...P.6
2. 事業概況 ...P.18
3. 補足資料 ...P.39

本資料における記載方法について

- 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- 取扱高は、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- 2021年12月期から決算期を変更した事により、2021年12月期は国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間、2021年12月期第3四半期は国内会社3ヶ月間、海外子会社6ヶ月間となります。
- 2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。
- 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率(親会社株主に帰属する四半期純利益率)、売上原価率、掲載料率は取扱高に対する比率を記載しております。

本社移転



当社グループは、コロナ禍を経て、リモートワークをはじめ多様な働き方が求められる中、オフィス環境の整備により、当社グループの業務拡大及び業務効率の向上を目的とし、2023年6月5日に本社を移転し、営業開始いたしました。

※ 本件についての詳細は、当社ホームページをご覧ください。

簡易株式交換による 連結子会社2社の完全子会社化に 関するお知らせ

(2023年5月31日開示)

当社は、2023年5月31日開催の取締役会において、2023年7月3日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、当社の連結子会社であるUNICORN株式会社及び株式会社インフルエンサーインベストメントホールディングスの2社をそれぞれ株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、2023年7月3日に株式交換が完了いたしました。

※ 本件についての詳細は、当社ホームページをご覧ください。








Chapter1 : **Second quarter results**

1.

第2
四半期
の業績

当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

単位：百万円

	2023年 12月期 第2四半期	前年同四半期 から当四半期 推移	前年同四半期比 2022年12月期第2四半期			前四半期比 2023年12月期第1四半期		
			実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	14,859		14,978	▲119	▲0.8%	15,202	▲343	▲2.3%
売上高	3,387		3,213	+174	+5.4%	3,455	▲67	▲2.0%
売上総利益	2,740		2,588	+152	+5.9%	2,898	▲158	▲5.5%
販管費	2,650		2,294	+356	+15.5%	2,358	+291	+12.4%
営業利益	89		294	▲204	▲69.5%	539	▲450	▲83.4%
経常利益	227		13	+214	—	575	▲347	▲60.4%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	71		454	▲383	▲84.3%	618	▲547	▲88.4%

取扱高 前年同四半期比 1億19百万円の減少 (0.8%減)
前四半期比 3億43百万円の減少 (2.3%減)

営業利益 前年同四半期比 2億4百万円の減少 (69.5%減)
前四半期比 4億50百万円の減少 (83.4%減)

※ 「経常利益」の前年同四半期比は増減率が1,000%以上のため表記しておりません。

2023年12月期業績予想と実績

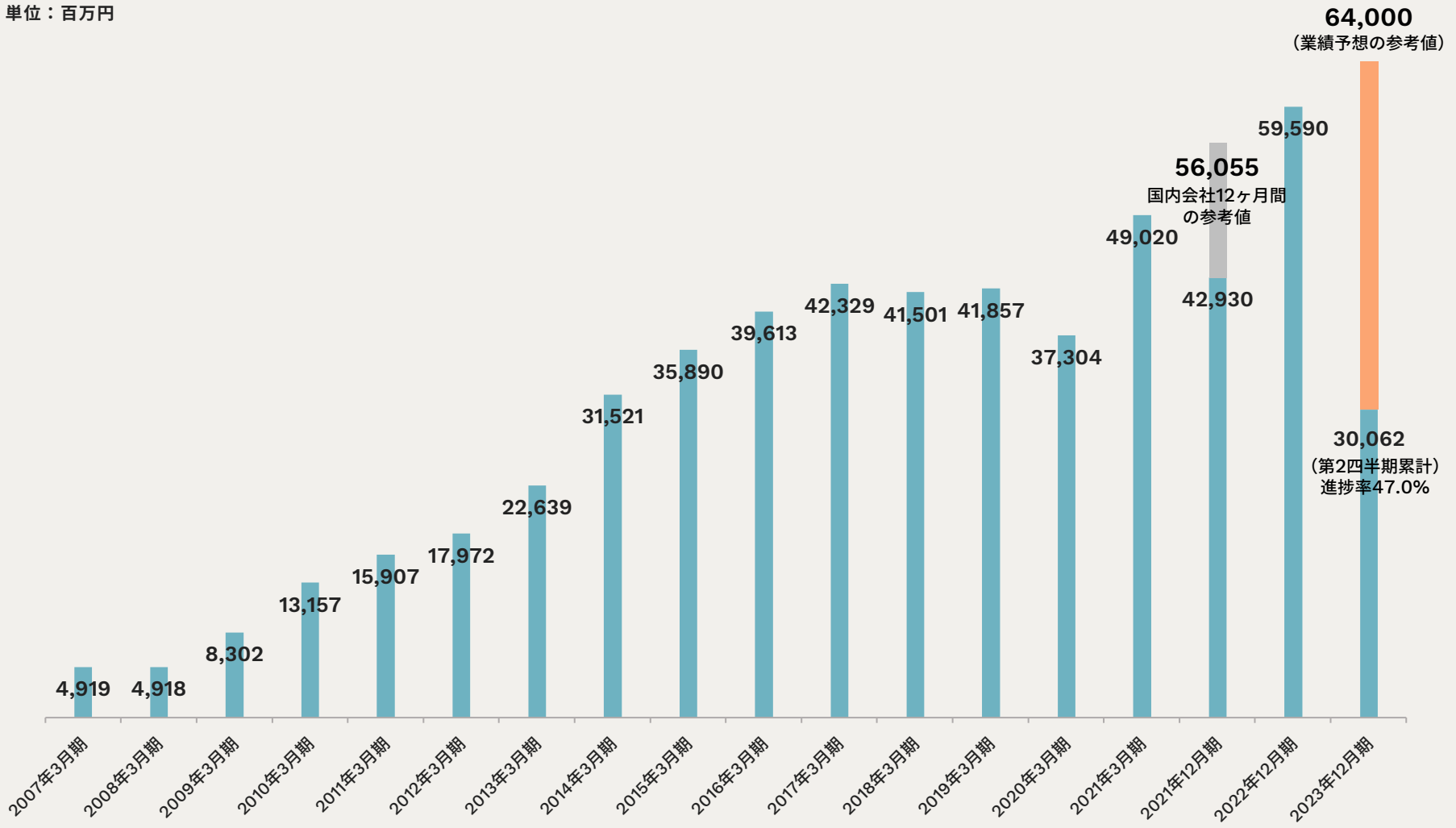
単位：百万円

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
通期予想	64,000	14,000	1,750	1,950	1,350
第2四半期実績	30,062	6,843	629	803	690
進捗率	47.0%	48.9%	36.0%	41.2%	51.1%

年間取扱高

(2023年12月期については第2四半期までの実績と業績予想の参考値)

単位：百万円



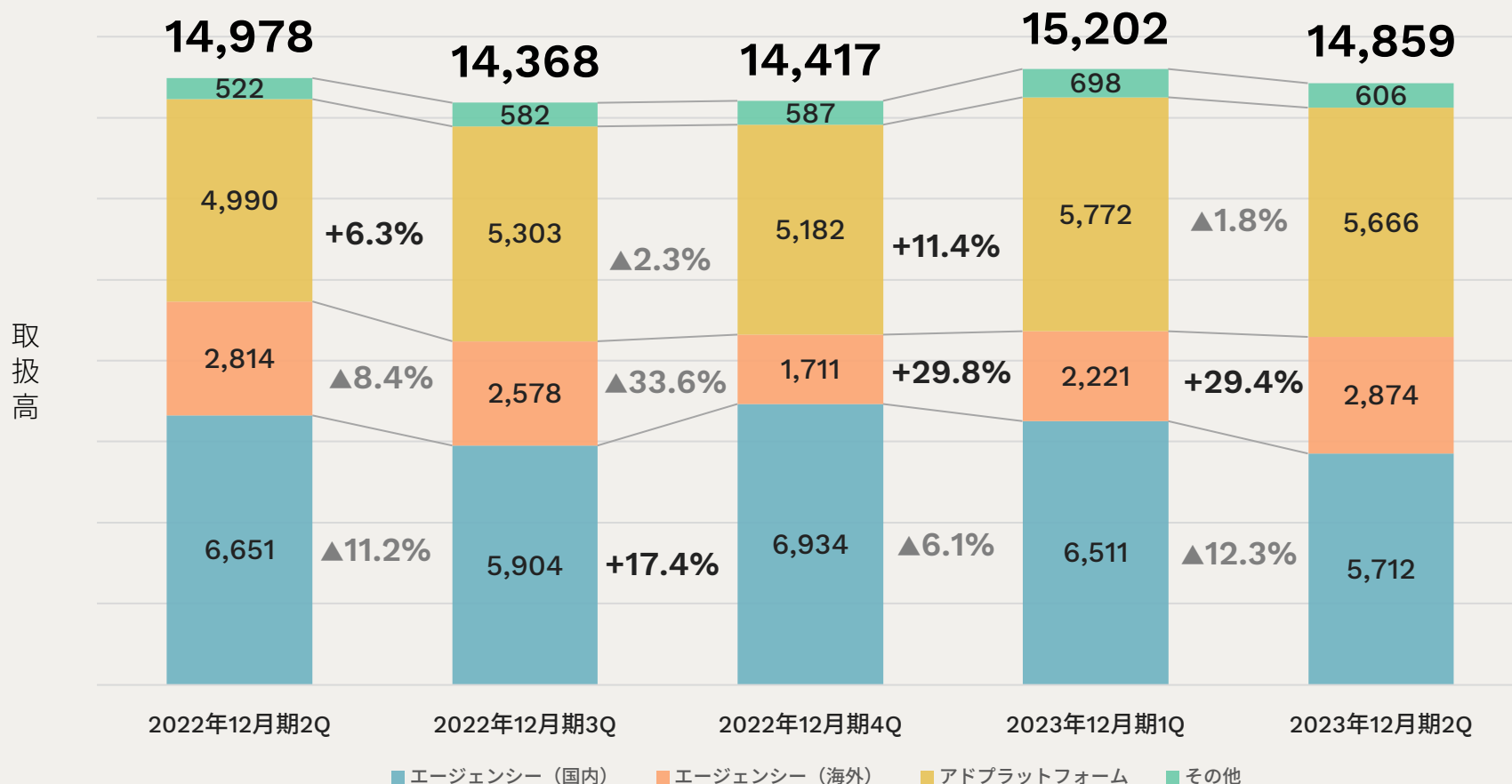
※ 2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の国内会社を加えた参考値です。

当四半期のセグメントサマリー

<p>エージェンシー事業 (国内)</p>	<p>セグメント取扱高：57億12百万円 前年同四半期比：9億38百万円減少（14.1%減）</p> <p>ゲーム、マンガに分類されないアプリ案件が伸長したものの、マンガアプリおよびEC案件が減少。ゲームアプリはほぼ横ばい。</p>
<p>エージェンシー事業 (海外)</p>	<p>セグメント取扱高：28億74百万円 前年同四半期比：59百万円増加（2.1%増）</p> <p>台湾ではアプリ広告およびブランド広告が不調となったものの、中国では大型案件の新規受注や、ECセールイベントの影響などがあり取扱高が増加。</p>
<p>アドプラットフォーム事業</p>	<p>セグメント取扱高：56億66百万円 前年同四半期比：6億75百万円増加（13.5%増）</p> <p>UNICORNはほぼ横ばいとなったものの、金融のアフィリエイトが増加したほか、Smart-C、AppDriverが大きく伸長。</p>

取扱高の四半期推移

単位：百万円



当四半期取扱高 148億59百万円

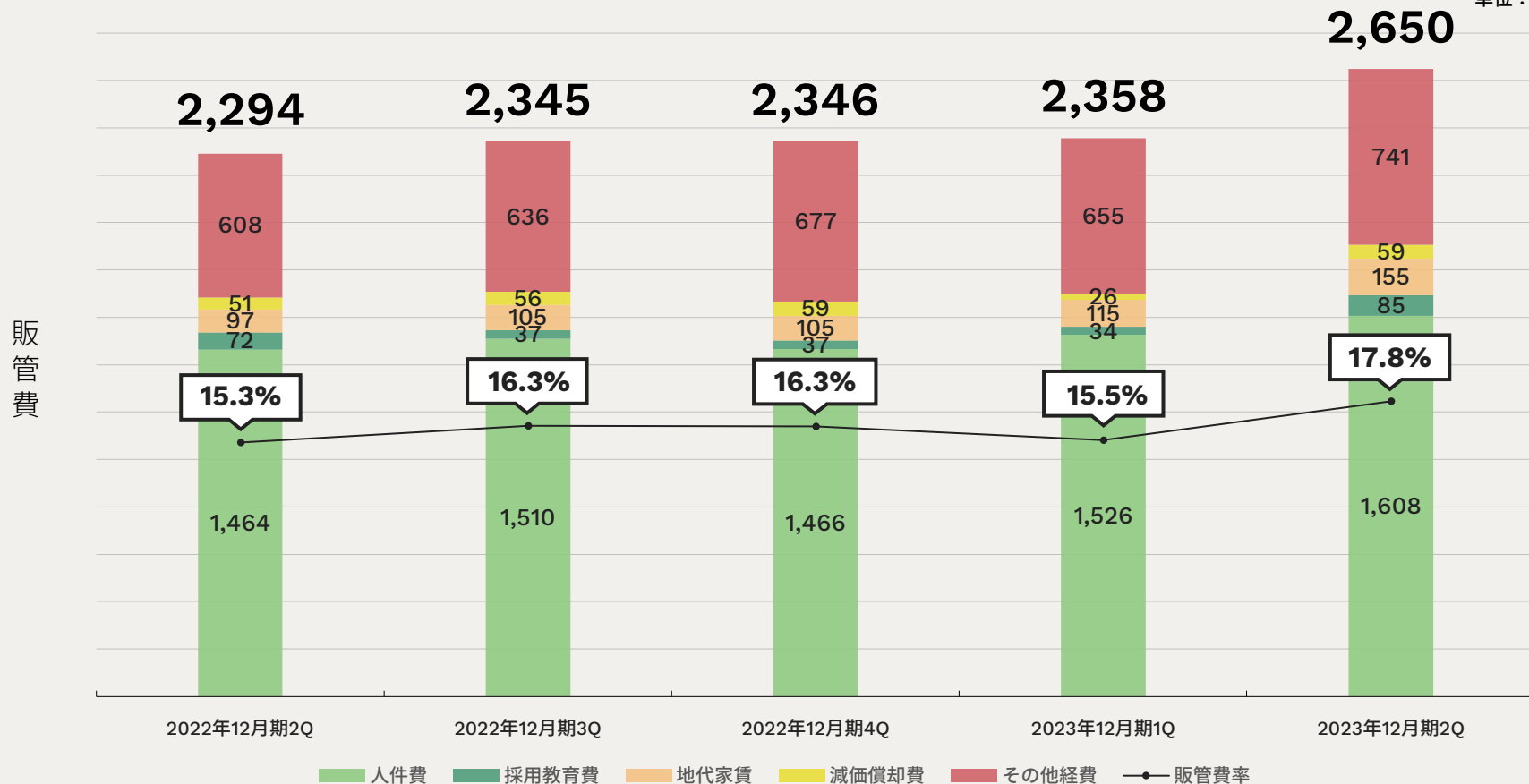
前年同四半期比：1億19百万円減 (0.8%減)

前四半期比：3億43百万円減 (2.3%減)

販管費の四半期推移

2023年12月期第2四半期は、新卒採用により採用教育費及び人件費、本社移転により地代家賃、消耗品費などのその他経費が増加しておりますが、地代家賃、消耗品費などのその他経費は一時的な増加となります。

単位：百万円



当四半期販管費 26億50百万円

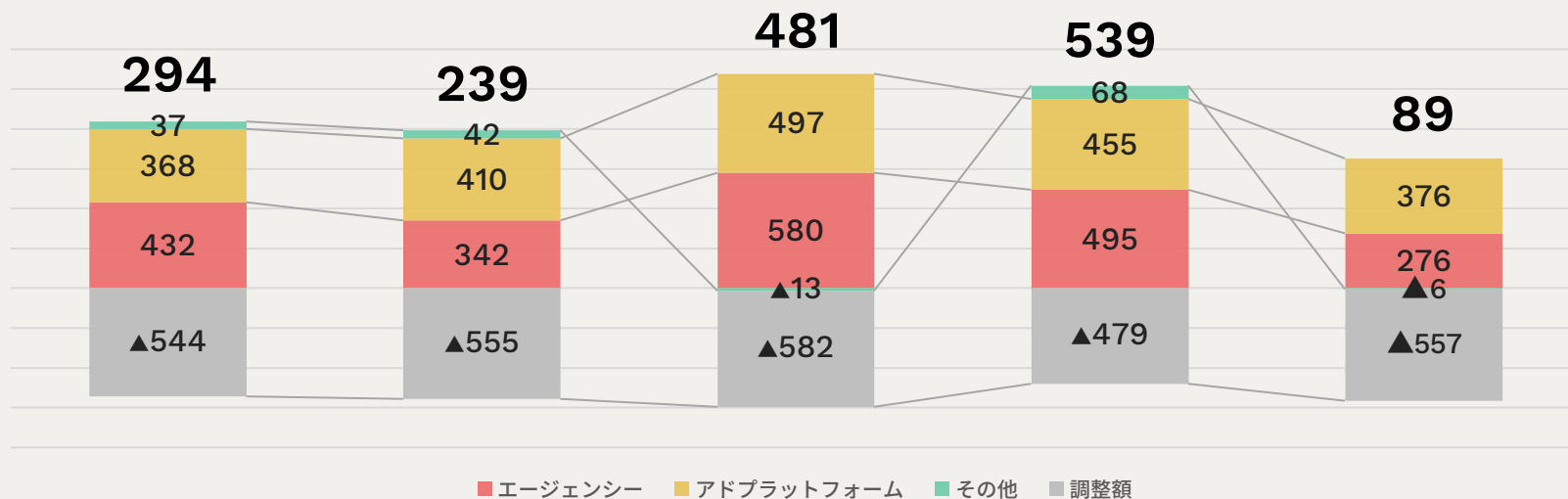
前年同四半期比：3億56百万円増（15.5%増）

販管費率：17.8%（2.5ポイント増）

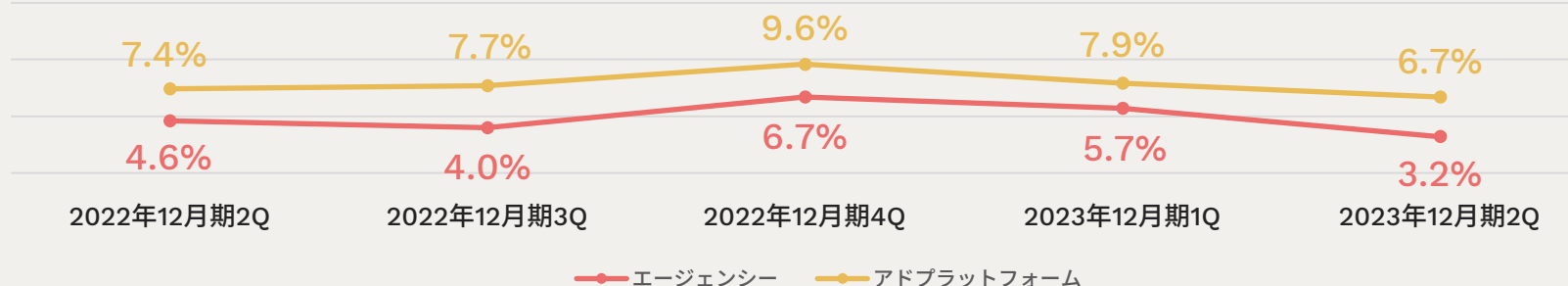
営業利益の四半期推移

単位：百万円

営業利益



営業利益率



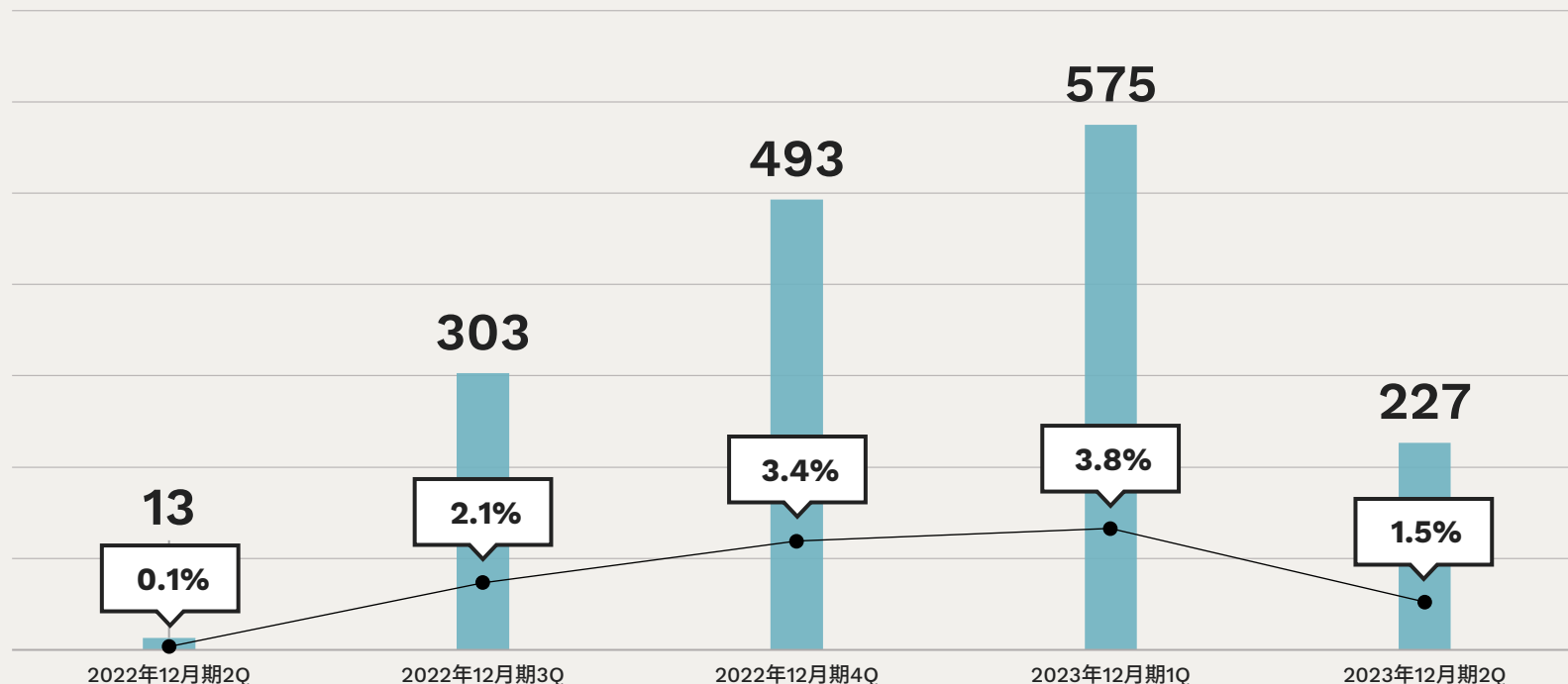
当四半期営業利益 89百万円

前年同四半期比 : 2億4百万円減 (69.5%減)

営業利益率 : 0.6% (1.4ポイント減)

経常利益の四半期推移

単位：百万円

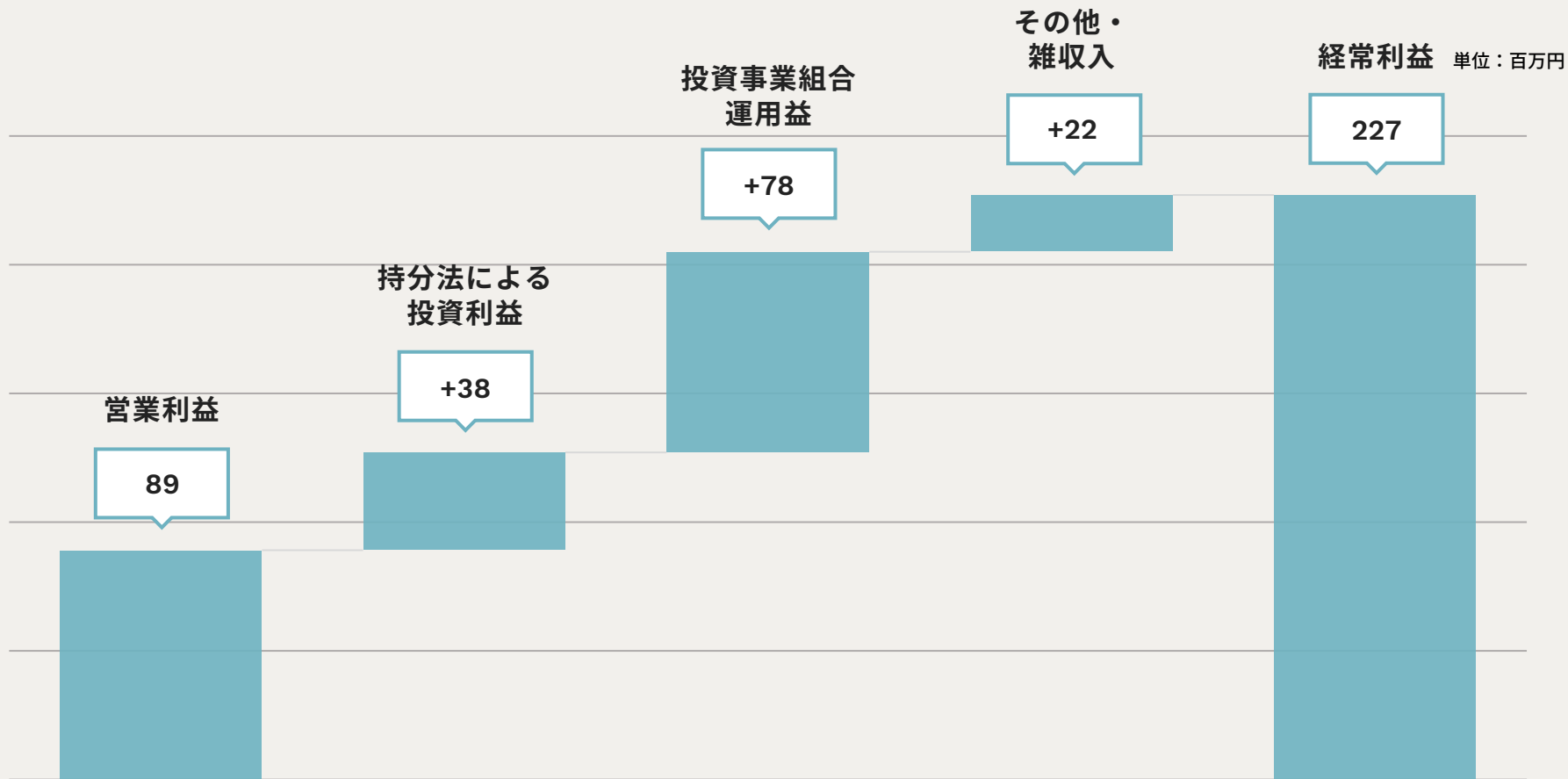


当四半期経常利益 2億27百万円

前年同四半期比 : 2億14百万円増 (-)

経常利益率 : 1.5% (1.4ポイント増)

経常利益の推移



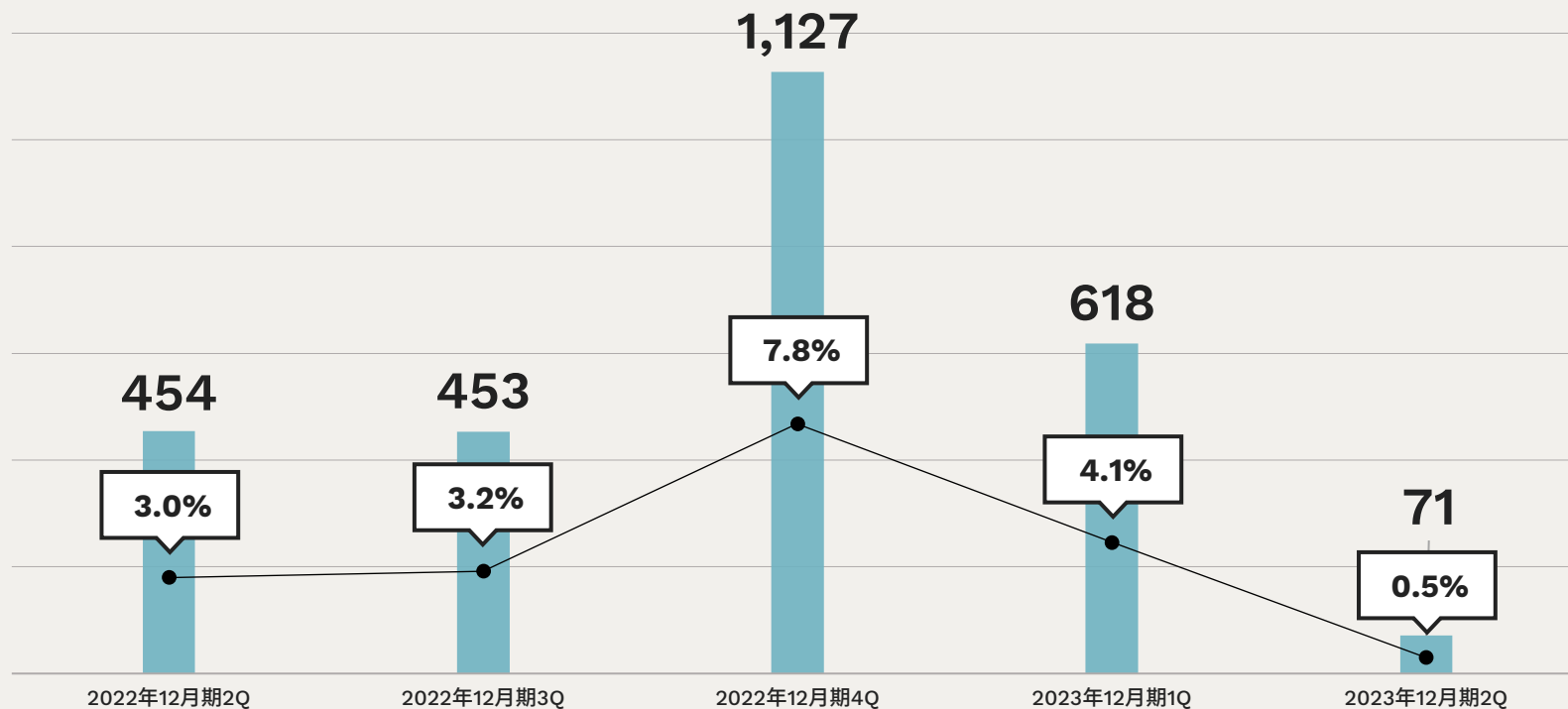
持分法による投資利益 38百万円

投資事業組合運用益 78百万円

その他・雑収入 22百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益の四半期推移

単位：百万円



親会社株主に帰属する

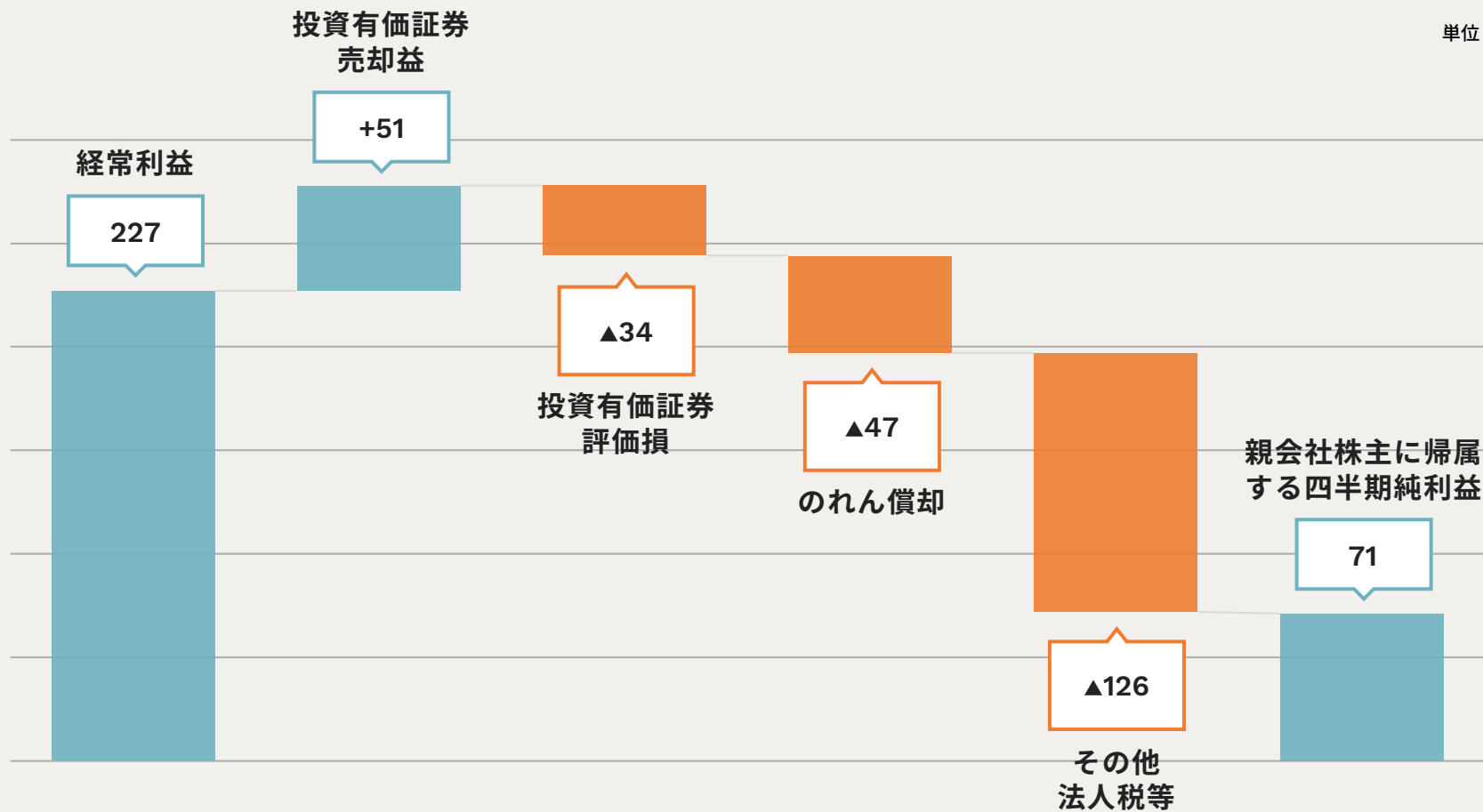
四半期純利益 71百万円

前年同四半期比：3億83百万円減（84.3%減）

利益率：0.5%（2.6ポイント減）

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

単位：百万円



投資有価証券売却益 51百万円

投資有価証券評価損 ▲34百万円

のれん償却 ▲47百万円

その他法人税等 ▲1億26百万円

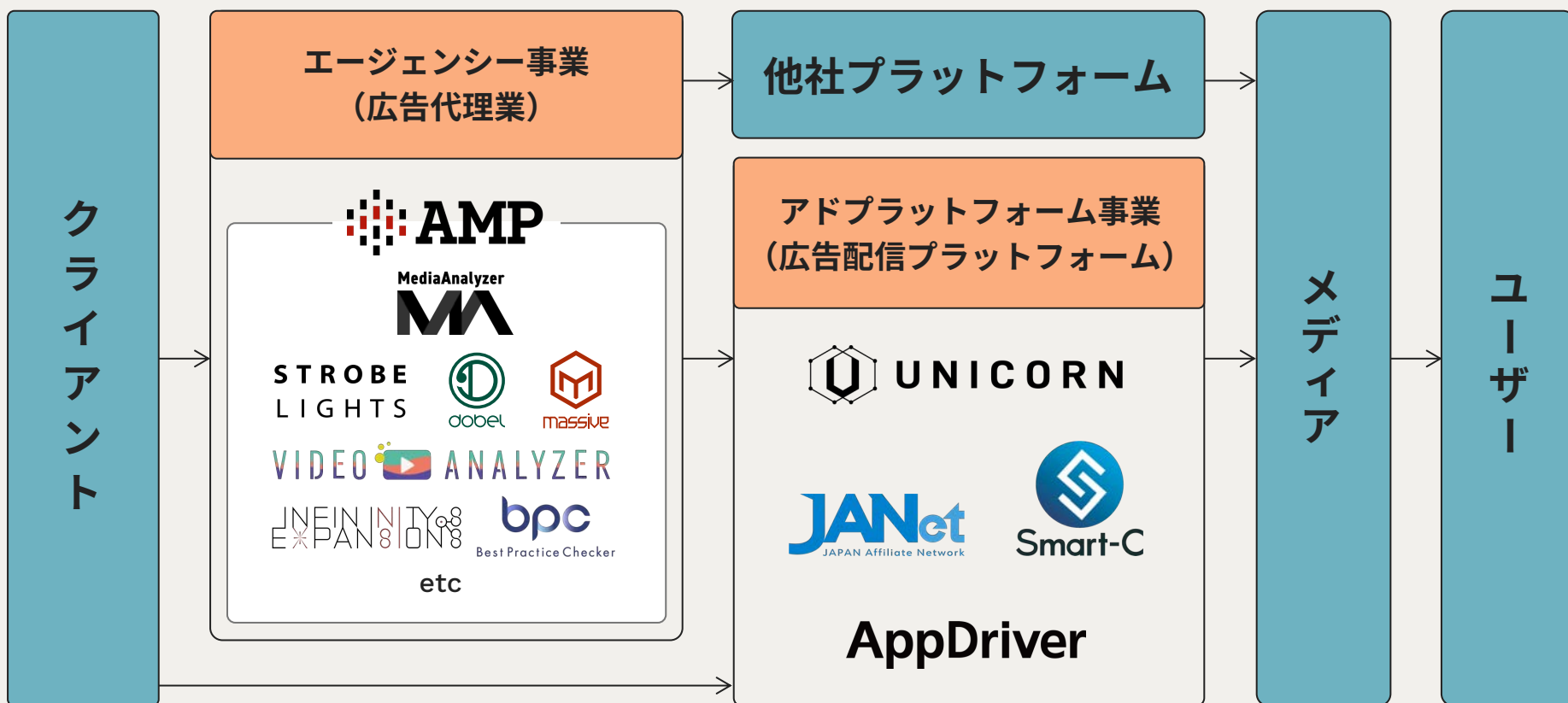
2.

Chapter 2: business overview

事業概況

広告事業の概況

広告事業の分類



広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

エー ジ エ ン シ ー
事業 (国内)

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

エージェンシー事業 (国内) 事業方針

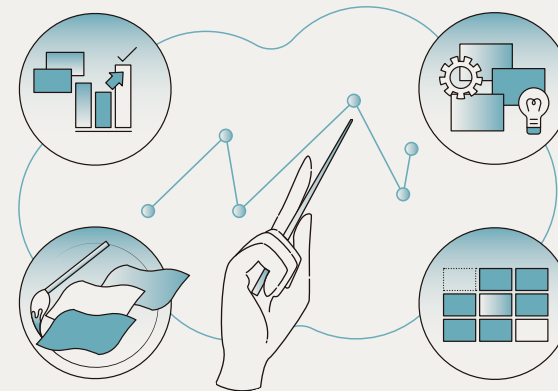
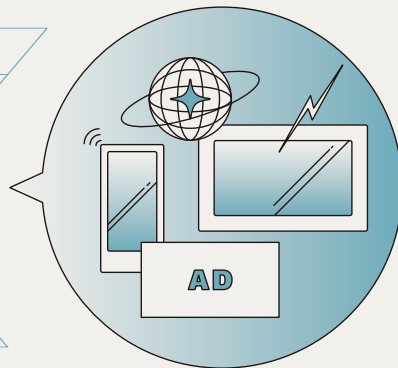
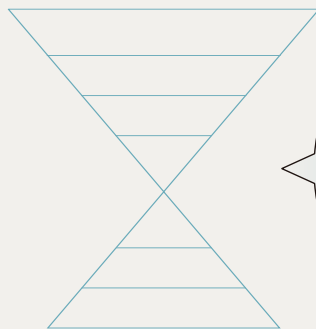
Second quarter

顧客の事業成長ドライバーとして、 マーケティングDXを実現

Hakuhodo DY holdings



Hakuhodo DY
media partners



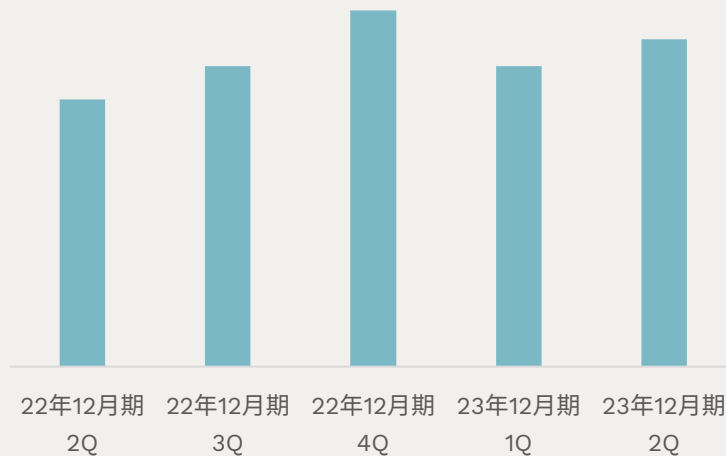
エージェンシー事業では、オフライン&オンラインの統合プランニングによる、包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。ナショナルクライアント（ブランド広告主）へのアプローチや、“テレビとデジタルの統合プランニング”による“フルチャネル※1”“フルファネル※2”を意識した、より効果的なマーケティングプランを実行するため、広告という枠組みに囚われず、マーケティングコンサルタントとして、あらゆる課題解決に取り組みます。また、「人」による高い運用力・創造力とAIを活用した高度な「マーケティングテクノロジー」を融合し、本質的な広告価値を生み出すことで、クライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援いたします。

※1) フルチャネル：集客するための媒体、経路などを広く活用する事

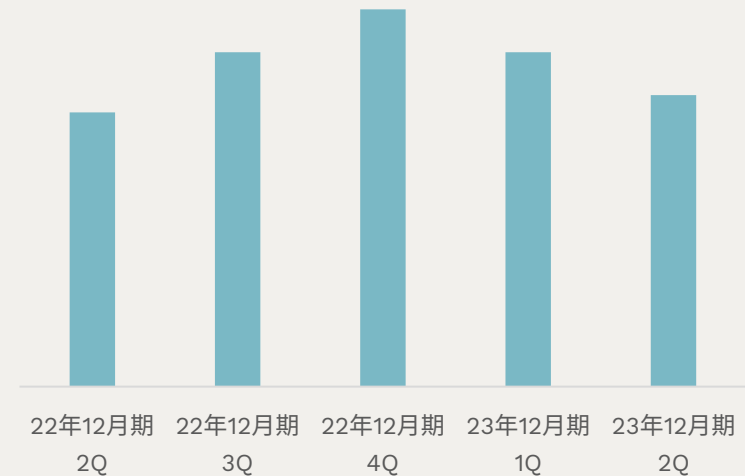
※2) フルファネル：消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事

博報堂 D Y グループ 資本業務提携の 進捗

博報堂 D Y グループ 協業
取扱高推移



博報堂 D Y グループ 協業
アカウント数推移



前年同四半期比で、取扱高、アカウント数についても増加。

アドプラット
フォーラム事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業



UNICORN

REDEFINE DIGITAL MARKETING.

アドプラットフォーム事業 (UNICORN) 事業方針

チャンネル × 提供価値 × アカウントの
3軸で立体的に拡大



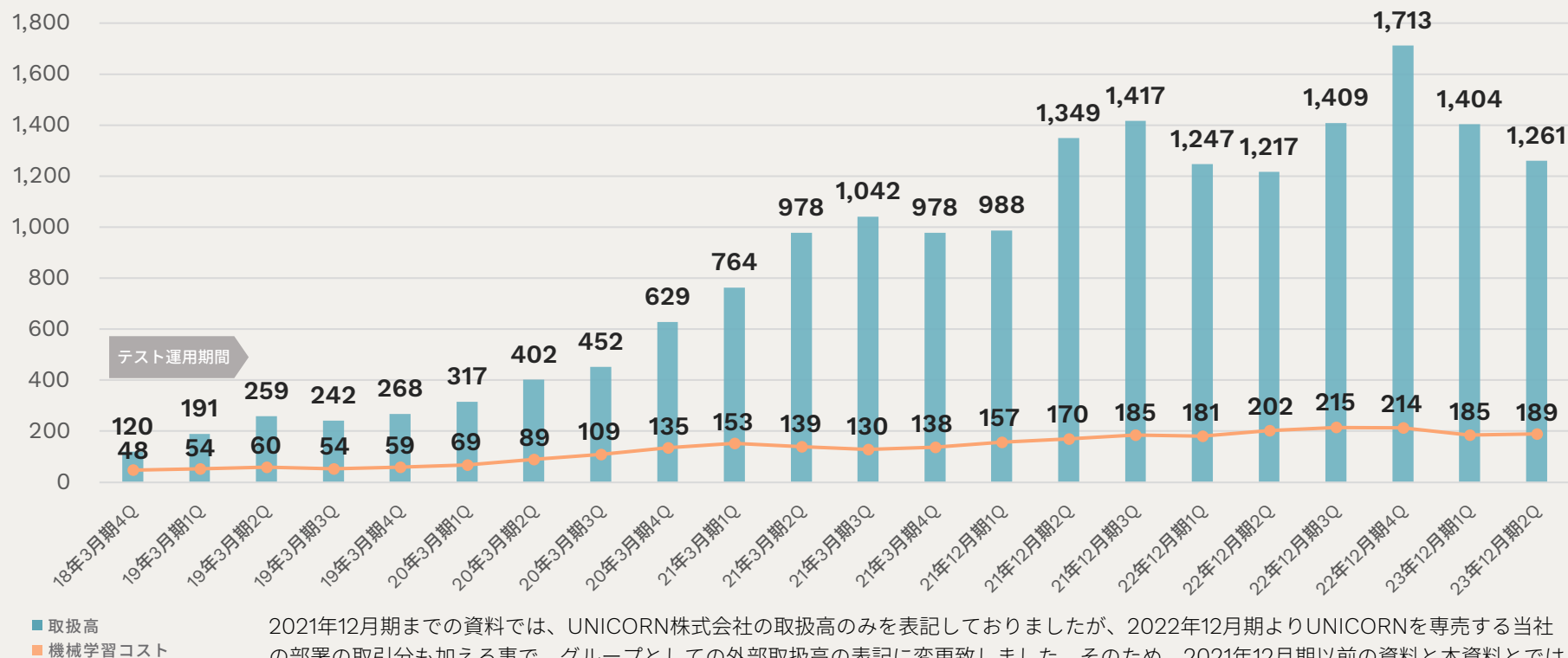
UNICORNでは、Apple Search Ads | Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTVやOTT※等のサービスと連携し、配信面においても拡大を続けています。また、メガプラットフォーム（Google Search、YouTube等）へも対応し、試験運用中。あらゆるチャンネルでのユーザーコミュニケーションの最適化を実現してまいります。

UNICORNの進捗

Second quarter

UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

取扱高は前年同期比で103%と伸長。

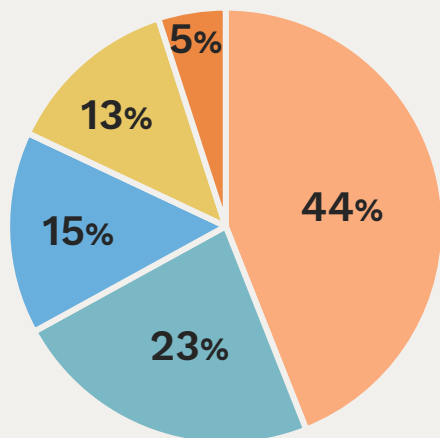
About UNICORN

UNICORNの進捗

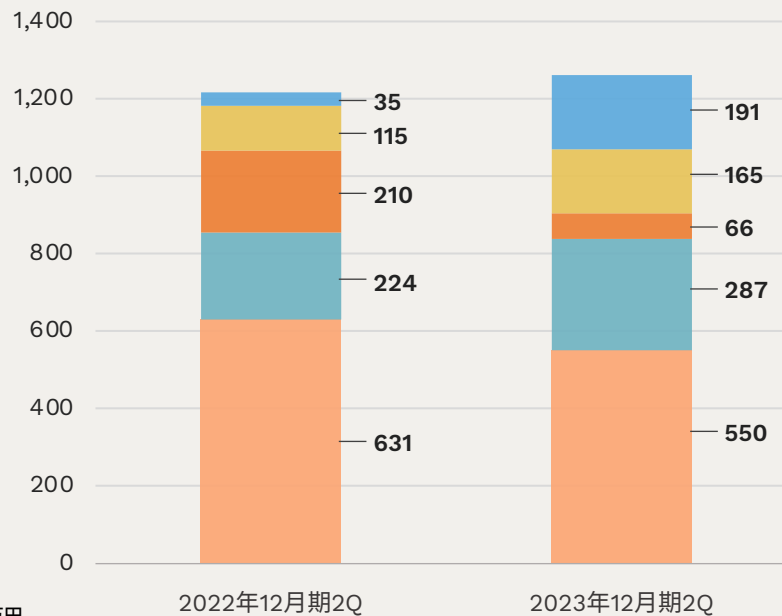
Second quarter

ジャンル別進捗

2023年12月期2Q実績



ゲーム ブランド マンガ VOD その他



単位：百万円

ゲーム ブランド マンガ VOD その他

ブランド・VOD・その他のカテゴリが伸長。

About UNICORN

UNICORNの進捗

Second quarter

UNICORNの業績：前年同四半期比較

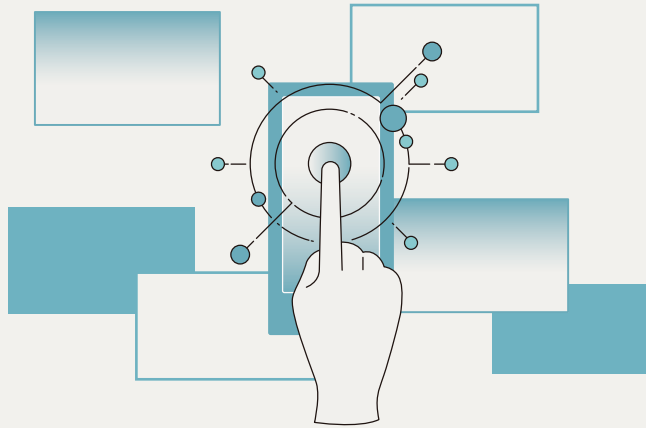
単位：百万円

	2023年12月期 第2四半期	前年同四半期比 2022年12月期第2四半期		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,261	1,217	+44	+3.6%
売上総利益	463	446	+16	+3.8%
営業利益	89	101	▲12	▲11.9%

取扱高、売上総利益は増加も、営業利益は減少。

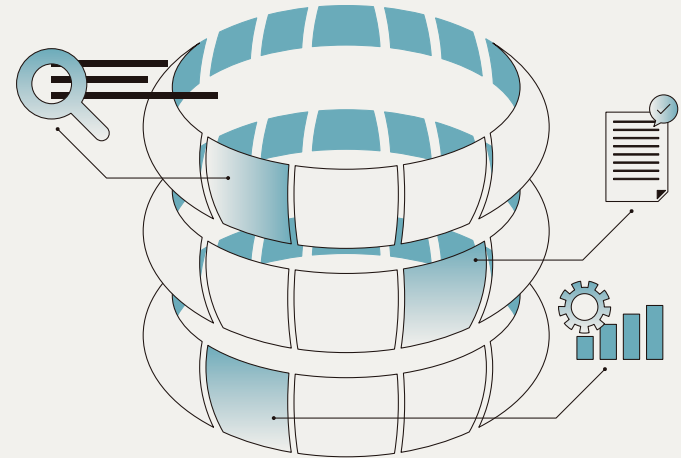
About UNICORN

先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



最先端の
クリエイティブフォーマット

Banner / Video / Reward Video
Native / Interactive



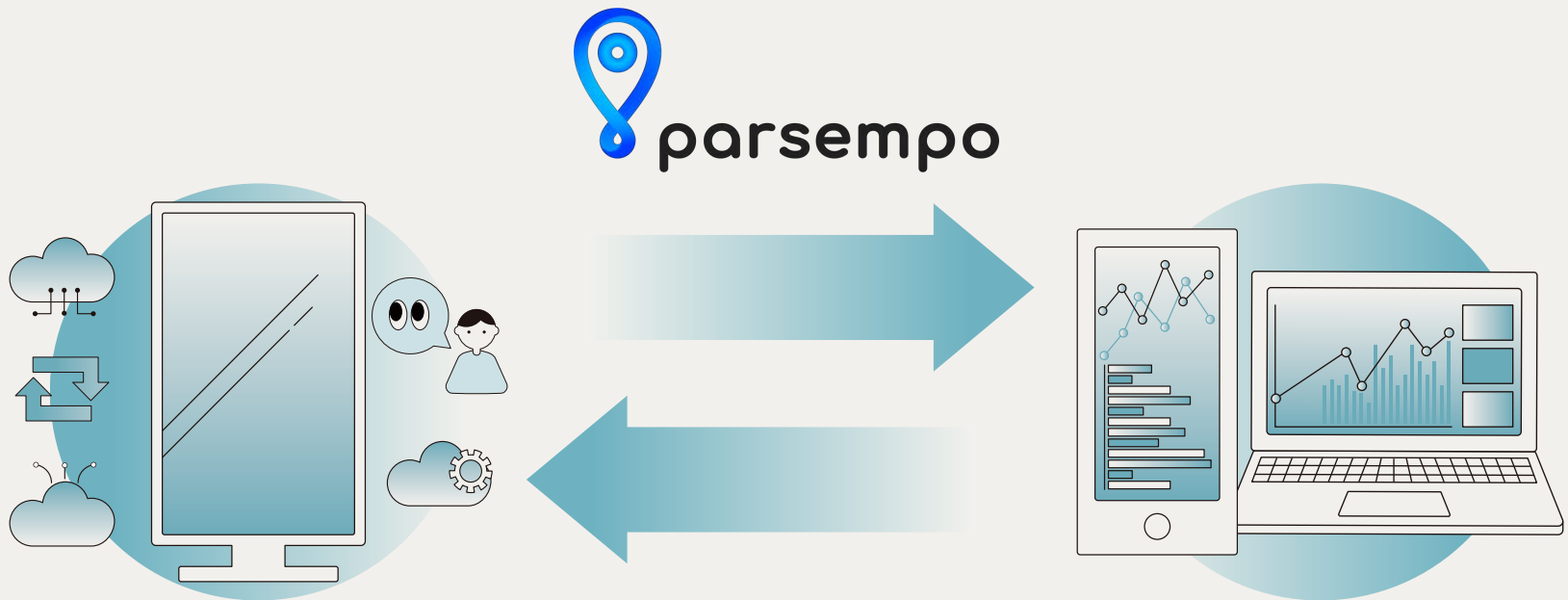
UNICORNでの
高精度な配信最適化

コンテキスト / ロケーション / デモグラフィック
キャリア / 承認リスト
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、これまでは出会えなかったユーザーと
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

デジタルサイネージにおけるSaaSを開発する「Parsempo」へ出資

デジタルサイネージにおける運用管理から
プログラマティック広告プラットフォームまでワンストップで活用が可能



プライバシーに準拠したリアルタイムでの映像解析、エンゲージメント分析、データやAIを活用した高精度な効果測定、レポート作成が行われることで効果が可視化され、データドリブンでのマーケティング施策支援を実現。

D E E E

Delight
喜び

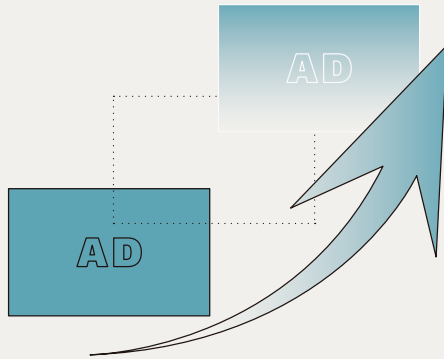
Exciting
わくわく

Eager
熱心

Exceed
超える

伝統と革新が融合する、
あたらしい集合体へ。

アドプラットフォーム事業 (ADWAYS DEEE)事業方針



アフィリエイト広告を
新たな概念へアップデート。


AppDriver



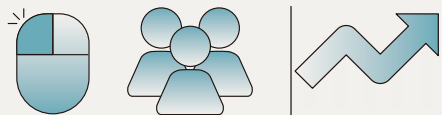
生活者体験の向上×メディア収益最大化
を実現するサービス開発の強化。


アフィリエイト広告最適化、 収益最大化を支援

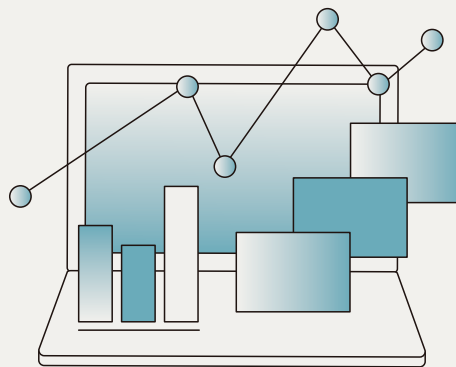
「JANEEE Advertising Report」


 各種データを統合

- ✓ JANet が保有するクリック数や成果発生件数データ
- ✓ パートナー様のご協力のもとに取得した集客データ
- ✓ 専用ツールを活用したユーザーニーズ、トレンド関連データ



 レポート一元管理



 収益化までの改善活動、
効率化を支援



長年の運用ノウハウを元にした
コンサルティング支援

パートナーの事業成長への貢献のみならず、
アフィリエイト広告の透明性・公平性の向上、健全化を推進

前身となるプロトタイプを使用したコンサルティング支援の結果※、
JANetからの月間平均収益が21%増加した例も生まれています。

その他事業 (広告以外)

広告事業以外の新たなソリューション

新たな体験・価値の提供

Second quarter

広告事業以外での新たなソリューション、
事業の多角化を推進

会員制定額サウナ 「オールドルーキーサウナ」



系列店では初となる女性対応店
「オールドルーキーサウナ銀座中央通り
店」を2023年7月12日にオープン。

喫煙者専用カフェスペース 「オールドルーキーカフェ」

O
OLD ROOKIE
CAFE

快適な喫煙環境提供で、
ルール違反のない社会へ貢献し、
喫煙者と非喫煙者の共生を推進。

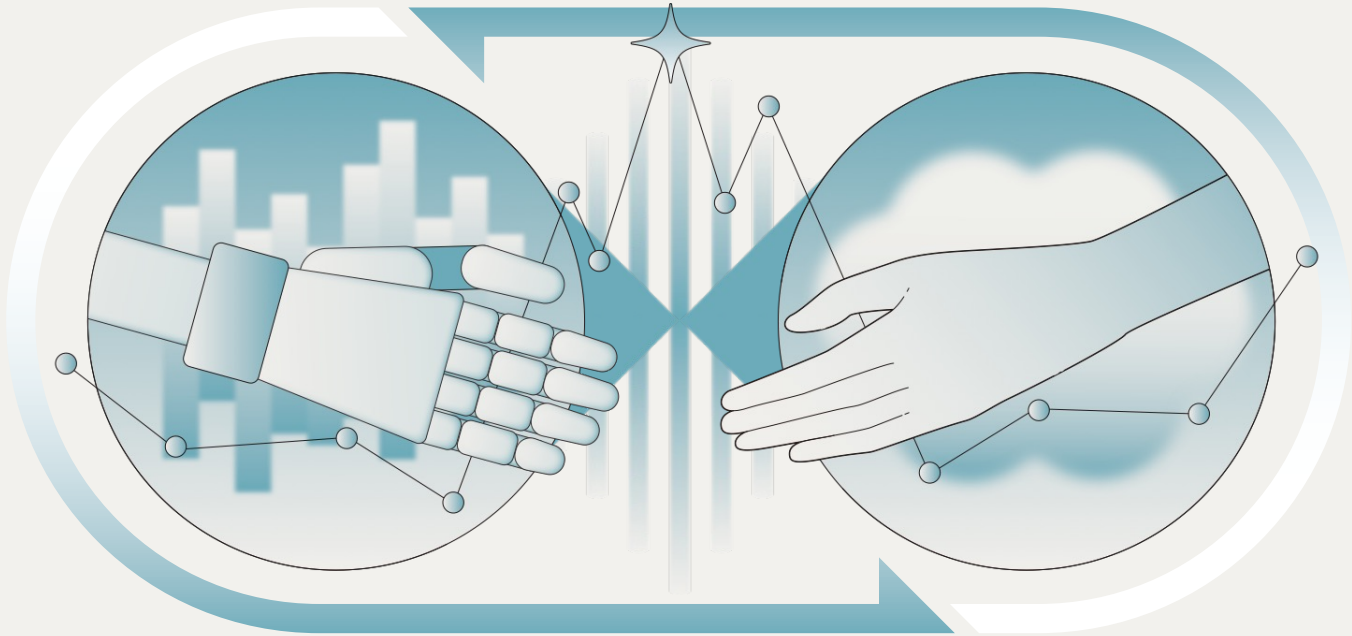
休職早期復帰支援 プログラム

O
OLD ROOKIE
— 休職早期復帰支援プログラム —



休職中の方の早期復帰支援を目的に、
サウナ施設無料提供と指定ジム
利用料金を全額負担するプログラム。

人と機械の共生



人にはできないことを
機械化

機械にはできないことを
人に集約

パフォーマンスの最大化

PURPOSE OF ADWAYS

**全世界に
「なにこれ すげー こんなのはじめて」
を届け、
すべての人の可能性をひろげる
「人儲け」を実現する。**

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2023年8月3日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

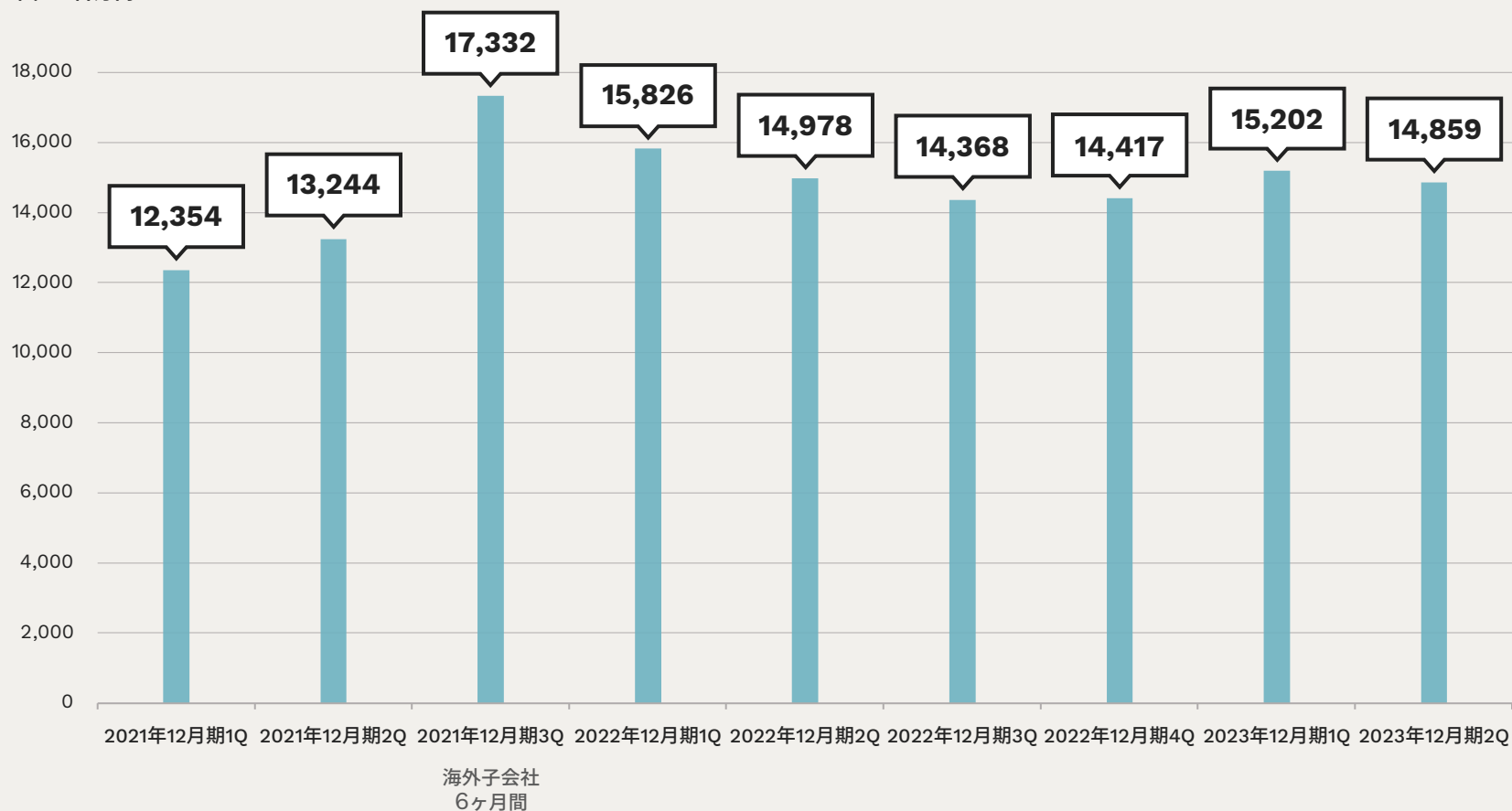
3

Chapter 3 : Supplementary materials

補 足
資 料

連結取扱高 四半期推移

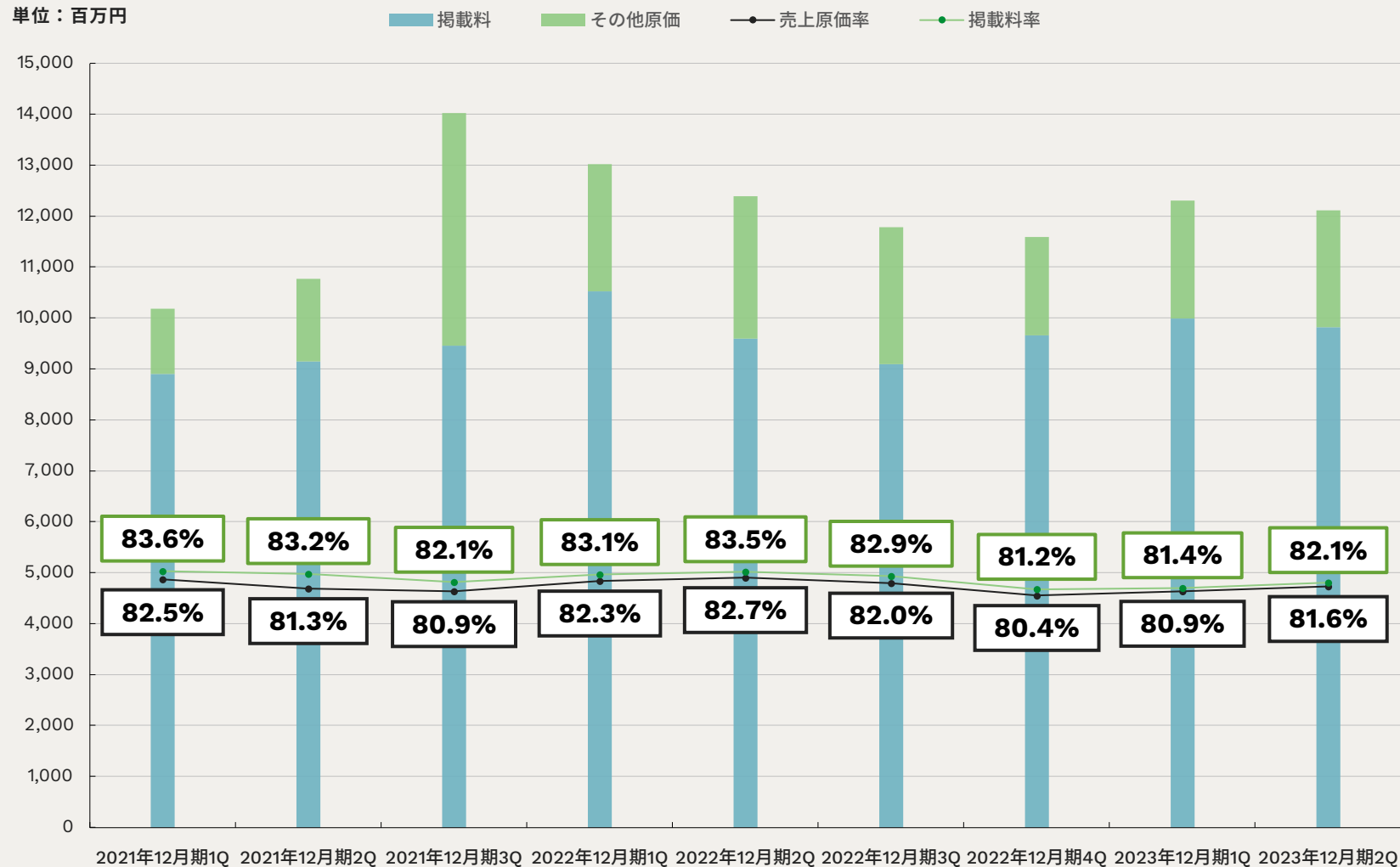
単位：百万円



※ 「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結売上原価 四半期推移

単位：百万円

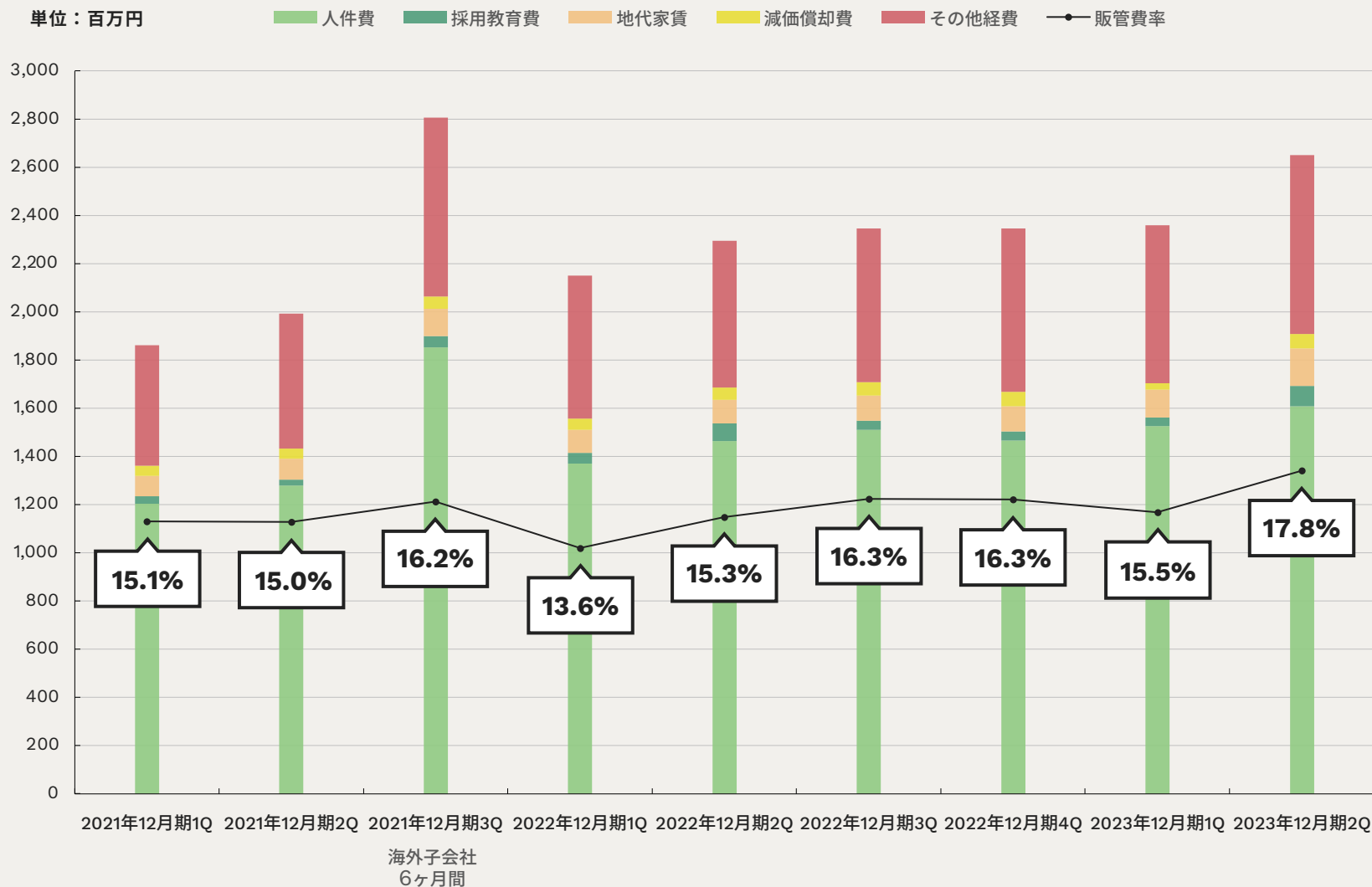


海外子会社
6ヶ月間

※ 「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

※ 掲載料、掲載料率は単体とADWAYS DEEE合計での数値となります。

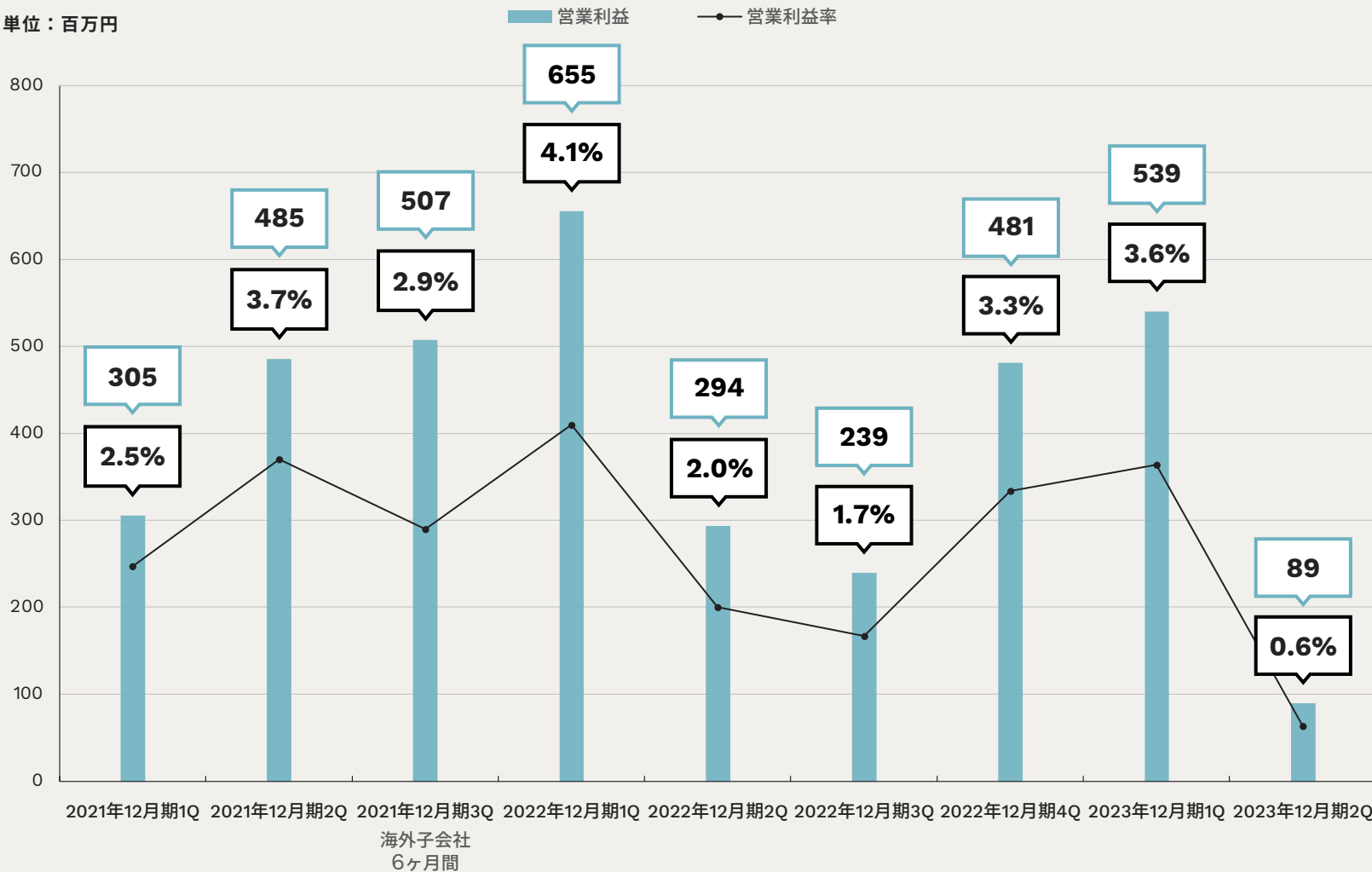
連結販管費 四半期推移



※ 「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結営業利益 四半期推移

単位：百万円



※ 「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結貸借対照表（前四半期比）

単位：百万円

	2023年12月期2Q	2023年12月期1Q	増減額	増減率
流動資産	18,579	20,319	▲1,739	▲8.6%
（現預金）	9,823	11,037	▲1,213	▲11.0%
固定資産	5,240	4,651	+588	+12.7%
総資産合計	23,820	24,971	▲1,151	▲4.6%
流動負債	9,309	9,768	▲458	▲4.7%
固定負債	409	252	+156	+62.0%
負債合計	9,719	10,021	▲301	▲3.0%
純資産合計	14,100	14,950	▲849	▲5.7%

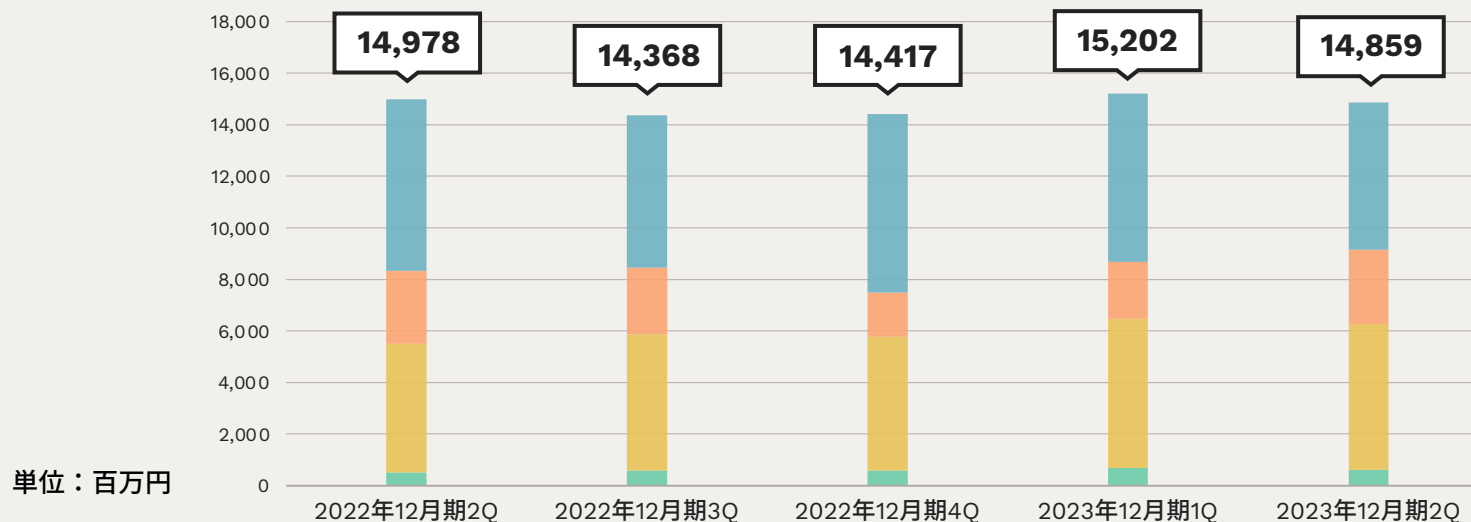
自己株式の取得を行った事により、純資産額が減少しております。

【参考】2023年4月1日～5月11日の自己株式取得額：756,076,400円

取得の詳細については、当社ホームページの「IR情報」をご確認ください。

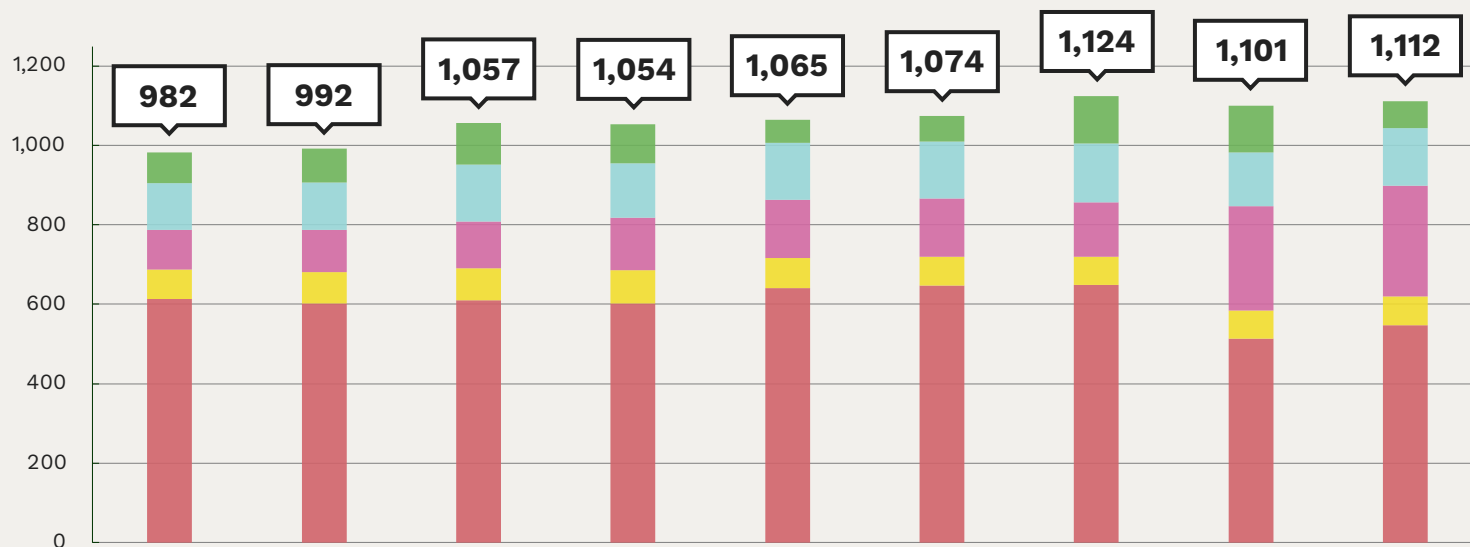
※ 自己株式の取得は2023年5月11日で終了しております。

セグメント内訳別連結取扱高構成比 四半期推移



	2022年12月期2Q	2022年12月期3Q	2022年12月期4Q	2023年12月期1Q	2023年12月期2Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ エージェンシー(国内)	6,651	5,904	6,934	6,511	5,712	▲798	▲12.3%
■ エージェンシー(海外)	2,814	2,578	1,711	2,221	2,874	+652	+29.4%
■ アドプラットフォーム	4,990	5,303	5,182	5,772	5,666	▲105	▲1.8%
■ その他	522	582	587	698	606	▲91	▲13.1%
合計	14,978	14,368	14,417	15,202	14,859	▲343	▲2.3%

当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名

	2021年 12月期1Q	2021年 12月期2Q	2021年 12月期3Q	2022年 12月期1Q	2022年 12月期2Q	2022年 12月期3Q	2022年 12月期4Q	2023年 12月期1Q	2023年 12月期2Q
日本アドウェイズ	613	602	611	603	641	648	649	513	548
中国アドウェイズ	74	79	80	83	76	72	71	72	72
国内子会社	101	106	117	132	146	147	137	263	279
海外子会社（中国以外）	117	120	144	138	144	143	148	135	145
派遣／アルバイト等	77	85	105	98	58	64	119	118	68
合計	982	992	1,057	1,054	1,065	1,074	1,124	1,101	1,112

※2023年12月期1Qより、アドプラットフォーム事業を分割し、子会社化したため、日本アドウェイズが減少、国内子会社が増加しています。

会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ (英名 : Adways Inc.)

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット関連事業

代表者氏名 山田 翔

資本金 1,716百万円 [2023年6月末日現在]

取扱高 59,590百万円 [2022年12月期連結]

従業員数 1,112名 (グループ全体) [2023年6月末日現在]

※臨時雇用者含む